

Emmett N. Leith Medal の受賞

辻内 順平

東京工業大学名誉教授

tsujiuch@r07.itscom.net*

本年 2 月 11 日の早朝、Optical Society of America (OSA) の会長から”2017 年の Emmett N. Leith Medal の受賞者に選ばれた”という趣旨の E-mail を受信しました。実はこの賞の候補者として昨年度から筆者の名前が挙がっていて、業績では自信があったのに受賞できず、残念な思いをしていました。OSA の規定では、3 年間再審査を受けることができ、また新しい資料も追加できるので、今回は業績資料を一部補強して再申請し、「まな板上の鯉」の気持ちで結果を待っていました。このような経緯がありましたので、この Mail は待ち焦がれたうれしい知らせとなりました。

この賞は、光情報処理の研究を推薦・奨励するために OSA が 2006 年に創設し、レーダーデータの光学処理やホログラフィーの実験技術の先駆者である Emmett N. Leith の名を冠したもので、光情報処理やホログラフィーの研究者の一人であった筆者にとっては憧れの賞でした。授賞の決定を通知する書面にある公式の授賞理由は
«for early pioneering work in optical information processing, holography and optical metrology, including the first demonstration of coherent optical processing for image restoration»

となっています。この文章で、“including”以下の記述は、筆者が 1958-1960 に Paris の Institut d’Optique に滞在中に行った image restoration の研究¹⁾²⁾で、これが筆者の研究の原点であり、今回の自信の根拠でした。また、これらの研究の延長上で行った種々の成果でもある程度の自信を持っていました。

この賞の OSA への提案は、Prof. G. W. Goodman (Stanford Univ.)のご厚意によるものであって、彼は以前から上記の image restoration の研究を高く評価しておられました。いずれにしても 50 年以上も前の研究がこの賞で評価されたことは大きな喜びです。もちろんそれ以後の研究成果も評価の対象となっていますので、多くの共同研究者や、東工大・千葉大における筆者の研究室の学生諸君の尽力にも深く感謝しています。

別表は、この賞の創設以来今年までの受賞者のリストです。昔からの友人や、懐かしい名前の方が何人も含まれています。今回このリストに加わることができたのは非常に幸せであり、長生きした甲斐があったと思っています。

このたび本賞の候補者としての登録につきましては谷田貝豊彦（宇都宮大学）、武田光夫（宇都宮大学）両教授、並びに清原元輔氏（清原光学会長）から種々の助言・ご協力を頂きました。厚く御礼申し上げます。

- 1) J. Tsujiuchi: Restitution des images aberrantes par le filtrages des fréquences spatiales, Opt. Act. 7 (1960) 243
- 2) J. Tsujiuchi: Restitution des images aberrantes par le filtrages des fréquences spatiales – Restitution de l’image dont le spectre comprend une partie négative, Opt. Act. 7 (1960) 385

*著者の E-mail Address は近く変更の予定ですが、少し遅れています。その間 tsujiuch@gmail.com をお使いください。

Emmett N. Leith Medal 受賞者
2008 Adolf W. Lohmann
2009 Joseph W. Goodman
2010 Juris Upatnieks
2011 Jean-Pierre Huignard
2012 Demitri Psaltis
2013 James E. Finup
2014 Adam Kozma
2015 Yeshaihu Fainman
2016 Francis T. S. Yu
2017 Jumpei Tsujiuchi